

◆主な実践活動

4月1日～10月31日 農地・水路・農道の草刈り（各農家が実施）

4月1日～ 6月30日 水路の泥上げ（各農家が実施）

4月18日 水路の草刈り・泥上げ（農会が共同作業で実施）

5月10日～6月10日 濁水流出防止に配慮した水田の代かき作業（各農家が実施）

8月 8日 水質検査勉強会（保全部会が実施）

9月12日 農道・市道の草刈り〈道づくり〉（区が全戸共同作業で実施）

12月21日 リーフレットによる部会活動紹介と水質保全の協力依頼（区全戸配布）

◆点検活動

5月30日 農地・水路・農道の設備を点検。農地・水路の草刈り・泥上げ・猪被害防護柵等の実施状況を点検（保全部会役員が実施）

◆会議

5月16日 第1回役員会 事業スケジュール・予算の検討。その他

7月28日 第2回役員会 水質検査勉強会の実施打ち合わせ

5月23日 保全部会会議 H21年度事業報告・会計報告。H21年度役員選出
H22年度事業計画・会計予算

※ 役員会は、12月以降も開催を予定しています。

活動状況の紹介(2)



☞ 農会員による水路の草刈り・泥上げ
(4月18日)



☞ 役員が、農地・水路・農道の状態を点検(5月30日)

☞ 全戸による農道・市道の草刈り「道づくり」(9月12日)

虫尾地区資源保全部会からのお願い 水質保全向上のために、みんなで取り組もう！

農地・水・環境保全向上対策事業は4年目となり、あと1年を残すだけとなりました。当部会では、虫尾区の環境を向上させるための活動テーマとして、「水質保全」を選択しています。引き続き、区民の皆様のご協力をお願いいたします。

例えばこのようなことを！

- ☆台所では、調理くずや食べ残しが流れてしまわないように、水切り袋などを使いましょう。
- ☆食用油は流さず使い切る工夫をしましょう。やむを得ず捨てる場合には、古新聞やボロ布などにしみこませて、生ごみと一緒に捨てましょう。
- ☆お風呂の残り湯を、洗濯や掃除に再利用しましょう。

もし台所でこれを流すと	てんぷら油500ml	おでんの汁500ml	牛乳200ml	マヨネーズ10ml	みそ汁200ml	米のとぎ汁2,000ml	しょう油15ml
そこにコイやフナがすめるようにするために必要な水※	330杯	25杯	10杯	8杯	4.7杯	4.2杯	1.5杯

※ 水1杯は300Lの浴槽

平成22年度役員

役職	氏名	備考
代表	森本 憲	農会長・水利組合長
副代表	六車 由治	区長・農会営農普及
書記	竹谷 好美	婦人会長
会計	吉村 保文	副農会長
監査役	岡田 南海雄	区監事
監査役	石川 一郎	区監事

役職	氏名	備考
役員	西田 保夫	農会会計
役員	田部 勝	副区長
役員	大原 康夫	農会購買
役員	酒井 正義	区環境衛生委員
役員	竹谷 ゆり	副婦人会長

活動状況の紹介(1)

8月8日に、虫尾区の子供達と一緒に水質検査勉強会を行いました。区内のため池や川からサンプル水を採取し、公会堂で専用キットを使って、汚染度を測定。子供10人の他、区民や保全部会役員が12人参加しました。

残念ながら、試薬の精度が低く、採取場所による汚染度の違いは明確には分かりませんでした。しかし、水質汚染に関する子供達の関心は高まってくれたと思います。



2班に分かれて、6カ所のため池や川から、サンプル水を採取。



まずは、採取場所による水のにおいや色の違いをチェック。



試薬の染みこんだ紙を水に漬けて、色の变化で汚染度チェック。